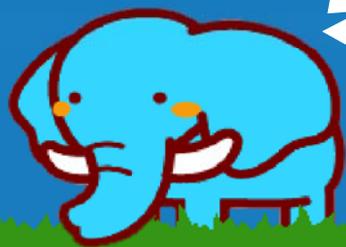


メダカからゾウまで

東山動物園



日本一の展示種類数とユニークな展示施設を持つ動物園

名古屋市東山動物園は、面積 32.2ha と日本でも指折りの規模をもち、展示動物はメダカからゾウまでと幅広く、500種類以上に渡るコレクション数は日本一であり、100種近い絶滅危惧動物を飼育しています。

園内には数多くの施設がありますが、中でも「世界のメダカ館」は、世界的にもユニークな施設です。メダカをテーマにした水族館は世界初で、田んぼ水槽をはじめとした200以上ある水槽に展示されている約200種・約1万点のメダカ類、希少淡水魚、水生昆虫などは圧巻です。その他、新たに改修したチンパンジータワーや人工物のある奥山の風景を模したニホンザル舎などユニークな展示施設が整備されておりますので、ぜひ足をお運びください。

チンパンジーの群れづくり大作戦 in 東山動物園

東山動物園では2010年8月にメスチンパンジーを新規導入し、新たな群れづくりを実施しました。今回の発表内容は、チンパンジーの新メンバー導入から全頭(6頭)の同居までについてです。

東山動物園で飼育しているチンパンジーのうち、亜種の異なるリナ(ナイジェリア亜種)を8月23日に熊本県のチンパンジー・サンクチュアリ・宇土(以後CSUと表記)へ送り出し、8月25日にCSUからカズミを、26日にはわんぱーく・こうちアニマルランドよりアキコをそれぞれ迎えました。この日から10月25日の全頭同居までの行程や、エピソードについてお話しします。

チンパンジーは複雄複雌の群れを形成し、メスが群れ間を移籍して血統の更新をする動物であることを考慮して、野生動物研究センター(WRC)やその他機関の協力の下、今回のチンパンジーの交換が実現しました。これについてもお話しできたらと思います。

名古屋市東山動物園 飼育第2係 近藤裕治

住所：名古屋市千種区東山元町3-70

電話：052-782-2111

FAX：052-782-2140

